

令和4年度

佐賀県歯科保健計画

「ヘルシースマイル佐賀21」

実施状況報告

令和5年9月

佐 賀 県

佐賀県笑顔とお口の健康づくり推進条例（平成22年佐賀県条例第27号）第17条の規定に基づき、令和4年度における佐賀県歯科保健計画「ヘルシースマイル佐賀21」の事業の実施状況等について報告します。

令和5年9月13日

佐賀県知事 山口 祥義

目 次

I 佐賀県歯科保健計画「ヘルシースマイル佐賀21」の概要	・・・	1
1 第2次佐賀県歯科保健計画		
(1) 計画の期間		
(2) 基本的な方針		
(3) 目標		
II 佐賀県の歯科保健対策事業の概要	・・・	3
1 佐賀県の歯科保健事業		
(1) 佐賀県口腔保健支援センター事業		
(2) 8020運動推進特別事業		
(3) 在宅歯科診療の推進事業		
(4) 歯科疾患予防事業		
(5) 障害者・難病患者等歯科保健事業		
(6) 佐賀県離島等口腔保健推進事業		
(7) 歯と口の健康週間		
(8) 8020運動推進週間		
(9) 地域歯科保健従事者研修会		
(10) 歯科保健条例推進事業		
(11) 後期高齢者に対する歯科健康診査		
2 市町の歯科保健事業	・・・	13
(1) 市町の歯科保健事業実施状況		
(2) フッ化物応用事業実施状況		
III 佐賀県の歯科保健統計	・・・	17
1 一人平均むし歯数と有病者率の年次推移（令和3年度）		
(1) 1歳6か月児のむし歯数と有病者率		
(2) 3歳児のむし歯数と有病者率		
(3) 12歳児のむし歯数と有病者率		
2 一人平均むし歯数と有病者率の市町比較（令和4年度）	・・・	23
(1) 1歳6か月児のむし歯数と有病者率		
(2) 3歳児のむし歯数と有病者率		
(3) 12歳児のむし歯数と有病者率		

I 佐賀県歯科保健計画「ヘルシースマイル佐賀21」の概要

1 第2次佐賀県歯科保健計画

佐賀県笑顔とお口の健康づくり推進条例（平成22年佐賀県条例第27号）第10条第1項及び歯科口腔保健の推進に関する法律（平成23年法律第95号）第13条第1項に基づき、第2次佐賀県歯科保健計画「ヘルシースマイル佐賀21」を平成25年3月に策定しました。

（1）計画の期間

平成25年度から令和5年度までの11年間としています。

※新型コロナウイルスの影響により、1年延期します。

令和5年度は第3次佐賀県歯科保健計画を策定し、令和6年度から実施予定です。

（2）基本的な方針

- ライフステージに応じた歯科保健対策の推進
乳幼児期・学齢期・成人期・高齢期のライフステージごとの特性を踏まえた歯科保健対策の推進、「かかりつけ歯科医」の普及を図ります。
- 支援が必要な方への歯科保健医療の推進
定期的な歯科健診や歯科医療を受けることが困難な障害（児）者・要介護者への歯科保健医療の推進、離島及びへき地における歯科保健医療サービスの確保を図ります。
- 関係機関との連携による総合的な歯科保健対策の推進
関係機関と連携して総合的な歯科保健対策の推進を図ります。
- 県民への情報提供
歯と口腔の健康づくりに資する情報の提供を図ります。

（3）目標

- 全体目標
県民一人ひとりが住み慣れた地域において、健康な笑顔とお口で長寿を享受できることを目指します。
- 具体的目標
 - ・むし歯、歯周病を減らします。
 - ・80歳で20本以上自分の歯を保てるようにします。
 - ・県民一人ひとりが、積極的に歯と口腔の健康づくりに取り組むことができる環境を整えます。
 - ・障害（児）者、高齢者、要介護者など、歯科にかかりにくい人々が歯科保健医療サービスを受けられるようにします。

II 佐賀県の歯科保健対策事業の概要

市町においては、住民に身近で頻度の高い歯科保健サービスの提供を、県においては、広域的、専門的、技術的なサービスとして障害者・難病者に対する歯科保健事業や8020運動を推進する取組を、県歯科医師会や歯科衛生士会等の関係機関との連携のもとに行っています。

第2次佐賀県歯科保健計画「ヘルシースマイル佐賀21」のスタートに合わせ、平成25年4月1日に佐賀県口腔保健支援センターを設置し、笑顔とお口の健康づくりの拠点としての機能を持たせています。

1 佐賀県の歯科保健事業

表II-1 歯科保健事業名と実施主体 (令和4年度)

区 分	事 業 名	実 施 主 体
母子歯科保健	母子健康手帳の交付 妊産婦歯科健診・保健指導 乳児歯科健診・相談 1歳6か月児健診、3歳児健診 幼児(2歳児等)健診・相談 乳幼児対象のフッ化物塗布 保育所、幼稚園、認定こども園での定期歯科健診 保育所、幼稚園、認定こども園でのフッ化物洗口	市町 市町 市町 市町 市町 市町 市町
学校歯科保健	定期健康診断における歯・口腔の健康診断 歯科保健教育 小学校、中学校、特別支援学校でのフッ化物洗口	県市町教育委員会 市町・歯科医師会・歯科衛生士会 市町・県市町教育委員会
成人歯科保健	健康増進法による歯周病検診 成人歯科保健教室・相談	市町 市町
高齢者歯科保健	介護予防事業(口腔機能向上) 後期高齢者歯科健康診査	市町 後期高齢者医療広域連合
障害(児)者歯科保健	障害者・難病患者等歯科保健事業	県
産業歯科保健	事業所歯科健康診査	事業主・保険者
在宅歯科診療の推進	在宅歯科医療推進連携室推進事業など	歯科医師会
体制整備	佐賀県口腔保健支援センター事業 佐賀県離島等口腔保健推進事業	県 唐津市
普及啓発	8020運動推進特別事業 歯と口の健康週間、8020運動推進週間各種広報 県民公開講座	県 県・市町・歯科医師会・歯科衛生士会 県
研修等	地域保健福祉従事者研修会 (地域歯科保健従事者研修会) フッ化物洗口従事者研修会	県

II 佐賀県の歯科保健対策事業の概要

(1) 佐賀県口腔保健支援センター事業

「歯科口腔保健の推進に関する法律（平成23年8月10日施行）」第15条に基づき、平成25年4月1日から健康福祉政策課に佐賀県口腔保健支援センターを設置しています。

センターには、センター長に健康福祉政策課長、歯科医師1名、歯科衛生士1名、保健師1名を配置し、年に1回センター運営委員会を開催するとともに、県の歯科保健事業の総合窓口、歯科医療業務に従事する者等に対する情報の提供、講習会の実施、その他の支援を行いました。

また、Facebookにおいて、センターの活動等について情報発信を行いました。



図II-1 Facebook

表II-2 佐賀県口腔保健支援センターの活動（令和4年度）

項目	概要
市町に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所、幼稚園、認定こども園でのフッ化物洗口の必要性について周知啓発（チラシ配布） ・ 歯科保健に関する指導媒体の提供 ・ 歯科保健に関するデータの提供 ・ 相談対応・情報提供
保健福祉事務所との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科保健に関するデータの提供 ・ 相談対応・情報提供
県民への普及活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ さが県政出前講座講師への派遣 「妊婦」「こども」「歯周病」「笑顔」「口腔体操」の5つのテーマの講座を実施 計15か所 294名 ・ 県立図書館での周知啓発 【歯と口の健康週間】 テーマ：妊娠したら歯科健診 【8020運動週間】 テーマ：矯正歯科について ・ Facebook やイベント等での啓発活動 ・ 「いい歯の日」に合わせた県庁舎への懸垂幕の設置
障害者・学校等への講義と実習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立九千部学園 学生への歯磨き指導 職員の相談 ・ 県立医療センター好生館看護学院 講義と実習 ・ 鹿島藤津地区医師会立看護高等専修学校 講義

II 佐賀県の歯科保健対策事業の概要

(2) 8020運動推進特別事業

8020運動推進特別事業は、国民の歯の健康の保持を推進させる観点から、都道府県が地域の実情に応じた8020運動に係る政策的な事業を行うとともに、歯科保健事業の円滑な推進体制の整備を行うことを目的とした国庫補助事業です。

令和4年度は昨年につき、第2次佐賀県歯科保健計画「ヘルシースマイル佐賀21」の最重要項目とする「かかりつけ歯科医」の普及に加え、「障害者等歯科保健推進事業」を実施しました。

表II-3 8020運動推進特別事業 (令和4年度)

障害者等歯科保健推進事業	
【目的】	障害者が地域や施設等の身近なところで健診や早期治療を受け、お口の健康を維持、向上できるよう、障害者歯科専門医、障害者歯科保健地域協力医、かかりつけ歯科医、コ・デンタルスタッフ、支援者等による支援体制の推進を図る。
【事業内容】	<p>① 8020運動及び歯科口腔保健の推進に関する検討評価委員会の開催</p> <p>② 障害者入所施設での健診の実施（1回×4施設） 未実施または1年に1回未満の施設を対象に実施し、定期的な健診の受診勧奨を行った。</p> <p>③ 障害者歯科地域包括ケアのための相談会・事例検討会の開催（1回×4施設） 困りごとについて相談・事例検討することで、日頃の関わりやケアへ生かす。 相談者・事例提供者→施設職員 参加者→障害者歯科保健地域協力医など 障害者入所施設での健診と併せて実施。</p> <p>④ 障害（児）者の支援者向け口腔ケア研修会（1回/年） 支援者を対象とし、障害（児）者の特性に応じた口腔ケアの重要性や手法に関する研修会を行った。笑顔とお口の健康手帳の活用について紹介、配布も同時に行った。</p> <p>⑤ さがお口のパトロールプロジェクト「くちパト」の事業啓発チラシ配布し、歯科健診受診を促した。</p>
【実施主体】	<p>①佐賀県</p> <p>②、③、④、⑤佐賀県歯科医師会に委託</p>
【結果】	<p>1年に1回以上の歯科健診が未実施の障害者入所施設において、歯科健診を行うことで、必要性の理解を促すことができた。</p> <p>また、支援者向けの口腔ケア研修会の実施により、障害（児）者の口腔ケアおよび歯科健診の重要性を周知することができた。</p>

II 佐賀県の歯科保健対策事業の概要

「かかりつけ歯科医」普及用手帳の増刷	
【目的】	「笑顔とお口の健康づくり手帳」を活用し、「かかりつけ歯科医」の必要性の周知、及び啓発を行った。
【事業内容】	「笑顔とお口の健康づくり手帳」を県内就労支援継続A型・B型事業所、障害者（児）支援者、特別支援学校（中等部3年生、高等部3年生）入所施設、居宅サービス支援事業所他331ヵ所へ2,532冊を配布した。
【実施主体】	佐賀県歯科医師会委託
【結果】	手帳の説明と配布を行い、障害者及び家族、支援者に「かかりつけ歯科医」の更なる必要性を訴えることができた。

（3）在宅歯科診療の推進事業

ア 在宅歯科診療設備整備事業（補助事業）

安全・安心な質の高い歯科医療提供体制の充実を図るため、主に高齢者・寝たきり者等に対する在宅歯科診療を実施している6歯科医療機関に対し、在宅歯科医療機器等の設備整備に係る経費の一部を補助しました。

イ 在宅歯科医療推進連携室運営事業（補助事業）

医療や福祉との連携により、地域における在宅歯科医療の推進を図るため、佐賀県歯科医師会が設置した在宅歯科医療推進連携室運営事業に係る経費を補助しました。

II 佐賀県の歯科保健対策事業の概要

(4) 歯科疾患予防事業

ア フッ化物洗口従事者研修会

フッ化物洗口の適正な実施のため、各保健福祉事務所において、洗口を実施している保育所、幼稚園、認定こども園、学校等の従事者等を対象に、研修会を実施しました。

表II-4 フッ化物洗口従事者研修会の実施状況 (令和4年度)

保健福祉事務所	開催日	内 容	参加者数
佐賀中部	令和4年 8月25日 14:00～ 15:30	(1) 講演 「う蝕予防とフッ化物洗口について」 講師 神崎地区歯科医師会 理事 泉福 浩志 氏 (2) 講演 「Let's カクニン！フッ化物洗口について」 講師 佐賀県歯科衛生士会 中部支部員 歯科衛生士 新原 直美 氏 (3) 質疑応答 (回答者：両講師) 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、参加人数、時間等、規模を縮小して開催した。	32名 保育所5、幼稚園3、認定こども園7、小学校3、中学校1、県立学校4、その他5 (市町、市町教育委員会) 歯科衛生士会4
鳥 栖	実施なし		
唐 津	令和5年 3月15日 14:00～ 15:20	(1) 講演 「フッ化物洗口の意義と有効性」 講師 藤井歯科医院 藤井 哲則 氏 (2) 講演 「フッ化物洗口の具体的な実施方法」 講師 佐賀県歯科衛生士会 北部支部長 坂本 美代子 氏	31名 保育園、認定こども園14、小学校7、歯科医院(歯科衛生士)3、行政等7当所3
伊万里	実施なし		
杵 藤	令和4年 8月22日 14:00～ 15:40	(1) 講演 「フッ化物応用について」 講師 まじま歯科医院 院長 眞島 亮太 氏 (2) 講演・演習 「確認しましょう！フッ化物洗口」 講師 佐賀県歯科衛生士会 西部地区 歯科衛生士 山崎 美由紀 氏	計40名 来場者11(保育園、幼稚園5、歯科医療従事者5、行政機関1) オンライン29名 (保育園、幼稚園14、学校関係8、行政機関5、歯科医療従事者2)

II 佐賀県の歯科保健対策事業の概要

イ フッ化物洗口推進事業

フッ化物洗口に関しては、永久歯が成熟する14歳頃まで実施するのが効果的であるため、中学校まで継続的に行うことが望ましいとされており、フッ化物洗口を実施している施設の割合が低い市に対し働きかけることで、中学校におけるフッ化物洗口実施の拡大を図りました。

(5) 障害者・難病患者等歯科保健事業

各保健福祉事務所において、障害者・難病患者等を対象に歯科相談と研修会を行いました。

表II-5

保健福祉事務所	開催日時	対象者 参加人数	内容	効果・課題等
佐賀中部	令和4年 12月23日	各障害者(児) 施設職員、 保健福祉関係 者(市町等) 14名	① 講演 「口からはじめる健康 づくり～口の健康は全 身の健康～」 講師： 佐賀県歯科医師会 木下 拓郎 氏 ② 講演 「障害をお持ちの方へ のセルフケア指導・ 口腔ケアの方法につい て」 講師： 佐賀県歯科衛生士会 陣内 美穂子 氏 ③ 質疑応答	当研修会については、当初の対象施設が通所（作業所 ABなど）に限定されていたため、郵送通知をしてもほぼ 申し込みがなく、参加者の募集に非常に苦慮した。 その後、学校、入所施設等に周知を広げたが、コロナ 拡大、年末ということもあってか申し込みはそこまで増 えることはなかった。 これは、まだまだ通所施設の歯科保健に対する意識の 高まりが少ないことが理由の一つかと思うが、入所施設 のように入所者の生活面をみているわけではないこと が、大きな要因ではないかと考えられる。 （『●●ができない。』『●●が苦手だ。』など）と聴 講者から意見を頂いた。 障害をお持ちの方々にとっては、専門的な表現の一つで も不快に思われる事があると改めて考えさせられたの で、以後、配慮を検討したいと思う。
鳥栖	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止			
唐津	令和5年 1月20日	入所施設以外 の施設職員、 保健福祉関係 者6名	① 講演 「口からはじめる健康 づくり」 講師：田代歯科医院	新型コロナウイルス感染症の影響なのか不明だが、 参加者数が少なかった。 効果的な周知方法や対象者のニーズにあった開催方 法・内容を模索していく必要がある。

II 佐賀県の歯科保健対策事業の概要

	開催日時	対象者 参加人数	内 容	効果・課題等
伊 万 里	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止			
杵 藤	令和4年 12月7日	障害者（児）等 福祉サービス施 設の医療福祉従 事者、保健福祉 関係者 15人	① 講演 「口からはじめる健 康づくり」 講師：船津歯科医院 院長 船津光弘 氏 ② 講演 「口腔ケアの支援～ セルフケアと介助磨 き～」 講師：若楠療育園 歯科衛生士 賓竈 幸子 氏	研修会を通して、支援者が利用者のブラッシング方な ど口腔ケアに支援が必要ではないかと考えるきっか けとなり、歯科個別指導の利用や歯科医院の定期受診に 繋がることを期待したい。 対象施設からの参加申し込みが少なかつたため、研 修会の内容や周知方法に課題がある。他保健所の参加 状況や周知方法を情報し今後の参考としたい。 講演1の資料は若楠療育園の久保田先生が作成さ れ、その資料に基づき地区担当の講師が講演された。 講師の負担軽減を目的に依頼されたと思われるが、講 師からは「他の先生が作った資料で講演するのは難し い」との意見もあった。

(6) 佐賀県離島等口腔保健推進事業

平成25年度に佐賀県歯科医師会が実施する巡回歯科診療に係る設備整備費を補助しました。その整備を活用し、唐津・東松浦歯科医師会が唐津市の委託を受け、歯科健診や受診の機会が少ない離島住民へ適切な歯科保健医療サービスを提供されています。

表II-6 離島巡回歯科健診実績

年度	開設回数	利用者数
平成25年度	13	177
平成26年度	24	291
平成27年度	23	197
平成28年度	24	193
平成29年度	24	165
平成30年度	24	184
令和元年度	21	125
令和2年度	7	39
令和3年度	7	30
令和4年度	21	79

II 佐賀県の歯科保健対策事業の概要

(7) 歯と口の健康週間

歯と口の健康週間（6月4日～6月10日）は、歯と口の健康に関する正しい知識を県民に対し普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せて、その早期発見及び早期治療を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって県民の健康の保持増進に寄与することを目的として実施するものであり、歯科医師会、歯科衛生士会の関係団体、市町、保健福祉事務所で各種事業を実施しました。

表II-7 「歯と口の健康週間」における事業実施状況（令和4年度）

実施主体	事業内容（延実施回数）						対象者（延実施回数）						
	ポスター・標語の募集	歯の健康診査	保健指導	コンクール	講演	その他	特に限定しない	妊産婦	乳幼児	児童・生徒	成人	高齢者	その他（障害者等）
佐賀県歯科医師会	3	1	8	2	1	12	3	0	0	13	0	1	0
佐賀県歯科衛生士会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市 町	2	15	19	0	0	23	21	1	16	0	8	8	0
県及び保健福祉事務所	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0
計	5	16	27	2	1	40	29	1	16	13	8	9	0

(8) 8020運動推進週間

県では、平成23年度から毎年11月8日を「いい歯の日」と定めるとともに、「いい歯の日」に始まる1週間（11月8日～11月14日）を8020運動推進週間と定めています。

この期間中、歯科医師会、歯科衛生士会の関係団体、市町、保健福祉事務所において8020運動に関する県民の理解及び意識の向上を図り、県民運動として定着するよう努めました。

表II-8 「8020運動推進週間」における事業の実施状況（令和4年度）

実施主体	事業内容（延実施回数）							対象者（延実施回数）						
	ポスター・標語の募集	歯の健康診査	保健指導	コンクール	講演	広報	その他	特に限定しない	妊産婦	乳幼児	児童・生徒	成人	高齢者	その他（障害者等）
佐賀県歯科医師会	0	2	1	0	1	1	1	0	1	0	1	1	3	0
佐賀県歯科衛生士会	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
市 町	3	4	6	1	0	12	3	8	2	6	0	5	3	0
県及び保健福祉事務所	0	0	0	0	0	1	7	8	0	0	0	0	0	0
計	3	6	8	1	1	14	11	17	3	6	1	6	6	0

II 佐賀県の歯科保健対策事業の概要

(9) 地域歯科保健従事者研修会

歯科保健事業に従事する保健医療関係者を対象に、歯や口腔の健康づくりに関する知識の向上を図るため「歯科健診受診の実態とその効果について」の研修会を開催しました。

表II-9 研修会の実施状況 (令和4年度)

開催日	内 容	対 象
令和5年 1月12日	講演： 「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項の最終評価についての 考察」 講師：九州大学大学院 歯学研究院 口腔予防医学分野 古田 美智子 氏 WebEX を利用したオンライン研修	県内の 歯科保健医療 従事者 申込人数：61名

(10) 歯科保健条例推進事業

県では、11月8日を「いい歯の日」と定めるとともに、「いい歯の日」に始まる1週間を8020運動推進週間と定めて（佐賀県笑顔とお口の健康づくり推進条例第14条）事業に取り組んでいます。

ア 定期的な歯科健診受診啓発のためのイベント実施

表II-10 イベント（県民公開講座）の実施状況 (令和4年度)

開催日	内 容	対 象
①令和4年 10月10日 ②令和4年 11月5日	「歯と口の健康」イベント開催（第一生命保険会社協力 ブース提供） 開催場所 ①武雄温泉駅南口 ②嬉野温泉駅南口 内容 歯科相談 口腔環境測定	県民

イ 県庁旧館への懸垂幕の設置

II 佐賀県の歯科保健対策事業の概要

(1 1) 後期高齢者に対する歯科健康診査

歯周病を起因とする細菌性心膜炎・動脈硬化症の悪化等の疾病を防ぐことを目的に、市町が後期高齢者を対象に歯科健診（口腔機能評価なし）を行っています。

令和4年度は2市で実施されました。

また、歯周病を起因とする疾病予防とあわせて、口腔機能低下や誤嚥性肺炎等の疾病を防ぐことを目的に、平成30年度から、後期高齢者医療広域連合が、76歳の被保険者を対象に高齢者特有の口腔衛生状態の確認及び口腔機能評価を含めた個別健診（口腔機能評価あり）を行っています。

表II-11 後期高齢者に対する歯科健診受診者数 (令和4年度)

実施主体	歯科健診受診者数 (人)
佐賀市	89
唐津市	25
佐賀県後期高齢者 医療広域連合	1,691

(佐賀県後期高齢者医療広域連合調べ)

2 市町の歯科保健事業

(1) 市町の歯科保健事業実施状況

令和4年度の市町における歯科保健事業実施状況調査（表II-13）によると、妊産婦を対象とした歯科保健事業は、19市町で実施しています。

乳児を対象とした歯科保健事業を実施しているのは17市町です。3歳児健康診査後、就学前までの幼児（その他の幼児）を対象とした歯科保健事業を実施しているのは、15市町です。

成人歯科保健事業を実施しているのは6市町と、昨年度より実施市町が減少しました。歯周病検診を実施しているのは19市町でした。歯周病検診については実施市町は昨年度と同数です。

高齢者を対象とした歯科保健事業を実施しているのは15市町で、昨年度よりも増加しました。

(2) フッ化物応用事業実施状況

県では、むし歯予防対策としてフッ化物応用（歯面塗布・洗口）を推進してきました。市町の積極的施策と、歯科医師会、歯科衛生士会、薬剤師会、教育委員会等の協力のもと、保育所、幼稚園、認定こども園、小学校等において、積極的な取組が行われています。（表II-13～14、図II-4～6）

保育所、幼稚園及び認定こども園でフッ化物洗口を行っているのは全20市町であり、施設実施率は、保育所で72.28%、幼稚園で40.43%、認定こども園で63.75%でした。

市町立の小学校では平成25年度から実施率が100%でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止する施設があったため今年度は95.03%となっています。

市町立の中学校においては、19市町で実施され、実施率は64.04%です。なお、県立学校と特別支援学校において、実施率は100%でした。（表II-14）

I 市町の歯科保健事業

実施状況一覧

(令和4年度)

保健福祉 事務所	対象 市町名	妊婦		乳児		1歳 6か月児		2歳児		3歳児		その他 幼児		学童 生徒		成人	歯周病 検診	高齢者	その他
		○	*	○	*	○	*	○	*	○	*	○	*	○	*	○	○	○	○
佐賀中部	佐賀市			○	*	○	*			○	*	○				○	○	○	
	多久市	○		○		○	*	○	*	○	*	○		○			○	○	
	小城市	○		○		○				○				○			○	○	
	神埼市	○		○		○	*			○	*	○					○	○	
	吉野ヶ里町	○		○		○	*	○	*	○	*	○		○		○		○	○
	小計	4		5	1	5	4	2	2	5	4	4	0	3	0	2	4	5	1
鳥栖	鳥栖市	○				○	*			○	*	○		○			○	○	
	基山町	○		○		○	*	○	*	○	*	○	*				○		
	上峰町	○		○		○	*	○		○	*	○					○		
	みやき町	○		中止		○		中止		○		○		○			○	○	
	小計	4		2	0	4	3	2	1	4	3	4	1	2	0	0	4	2	0
唐津	唐津市	○		○		○	*	○	*	○		○	*				○	○	○
	玄海町	○		中止		○	*	中止		○	*	○					○		○
	小計	2		1	0	2	2	1	1	2	1	2	1	0	0	0	2	1	2
伊万里	伊万里市	○		○		○	*			○		○	*				○		
	有田町	○		○		○	*			○							○	○	
	小計	2		2	0	2	2	0	0	2	0	1	1	0	0	0	2	1	0
杵 藤	武雄市	○		○		○	*	○	*	○	*	○	*	○			○	○	
	鹿島市	○		○	*	○	*	○	*	○	*	○		○			○	○	
	嬉野市	○		○		○	*	○	*	○	*				○		○		○
	大町町	○		○		○	*	○	*	○	*	○			○		○	○	
	江北町	○		○		○	*	○	*	○	*	○	*				○	○	
	白石町	○		○	*	○	*	○	*	○	*			○			○	○	
	太良町	○		○	*	○	*	○	*	○	*	○	*			○	○	○	
	小計	7		7	3	7	7	7	7	7	7	5	3	3	0	3	7	6	1
県計	合計	19		17	4	20	18	12	11	20	15	16	6	8	0	5	19	15	4

* フッ化物塗布事業の実施

フッ化物洗口の各施設実施率（令和4年度）

表Ⅱ-14

市町村	保育所		幼稚園		認定こども園		小学校		中学校		特別支援学校	
	施設数	実施施設数										
	実施率 (%)		実施率 (%)		実施率 (%)		実施率 (%)		実施率 (%)		実施率 (%)	
佐賀市	34	15	25	4	21	5	35	35	18	2		
	44.12		16.00		23.81		100.00		11.11			
多久市	8	8	0	0	5	4	3	3	3	3		
	100.00		-		80.00		100.00		100.00			
小城市	8	8	1	1	6	6	8	8	4	4		
	100.00		100.00		100.00		100.00		100.00			
神埼市	6	6	0	0	4	3	7	7	3	3		
	100.00		-		75.00		100.00		100.00			
吉野ヶ里町	1	1	2	2	3	2	2	2	2	2		
	100.00		100.00		66.67		100.00		100.00			
佐賀中部 計	57	38	28	7	39	20	55	55	30	14		
	66.67		25.00		51.28		100.00		46.67			
鳥栖市	17	17	5	4	3	3	8	8	4	4		
	100.00		80.00		100.00		100.00		100.00			
基山町	1	0	1	0	2	1	2	2	1	1		
	0.00		0.00		50.00		100.00		100.00			
上峰町	0	0	0	0	3	3	1	1	1	0		
	-		-		100.00		100.00		0.00			
みやき町	4	4	4	4	1	1	4	4	3	3		
	100.00		100.00		100.00		100.00		100.00			
鳥 栖 計	22	21	10	8	9	8	15	15	9	8		
	95.45		80.00		88.89		100.00		88.89			
唐津市	33	16	1	0	11	5	33	29	18	7		
	48.48		0.00		45.45		87.88		38.89			
玄海町	2	2	0	0	0	0	1	1	1	1		
	100.00		-		-		100.00		100.00			
唐 津 計	35	18	1	0	11	5	34	30	19	8		
	51.43		0.00		45.45		88.24		42.11			
伊万里市	21	21	2	1	2	1	15	11	7	3		
	100.00		50.00		50.00		73.33		42.86			
有 田 町	5	5	0	0	3	3	4	4	2	2		
	100.00		-		100.00		100.00		100.00			
伊万里 計	26	26	2	1	5	4	19	15	9	5		
	100.00		50.00		80.00		78.95		55.56			
武雄市	7	7	2	2	8	8	11	11	5	5		
	100.00		100.00		100.00		100.00		100.00			
鹿島市	14	1	1	0	1	0	7	7	2	2		
	7.14		0.00		0.00		100.00		100.00			
嬉野市	8	7	2	0	4	4	8	8	4	4		
	87.50		0.00		100.00		100.00		100.00			
大町町	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1		
	100.00		-		-		100.00		100.00			
江北町	3	3	1	1	1	0	1	1	1	1		
	100.00		100.00		-		100.00		100.00			
白石町	8	8	0	0	1	1	8	8	3	3		
	100.00		-		100.00		100.00		100.00			
太良町	3	3	0	0	1	1	2	2	2	2		
	100.00		-		100.00		100.00		100.00			
杵 藤 計	44	30	6	3	16	14	38	38	18	18		
	68.18		50.00		87.50		100.00		100.00			
県立学校 計									4	4	10	10
									100.00		100.00	
合 計	184	133	47	19	80	51	161	153	89	57	10	10
	72.28		40.43		63.75		95.03		64.04		100.00	

※保育所・幼稚園・認定こども園の

施設数の合計は、こども未来課調べより
(令和4年2月末日時点)

※保育所（保育所型認定こども園を含む）

※幼稚園（幼稚園型認定こども園、公立【市町立】を含む）

ただし、国立は含まない。

※認定こども園（幼保連携型認定こども園を指す）

※地域型保育事業所及び認可外保育施設は含まない

※小学校・中学校の施設数の合計は、

佐賀県教育委員会『令和4年度佐賀県の学校』より

ただし、分校、国公立及び私立はカウントしない。(令和4年5月1日時点)

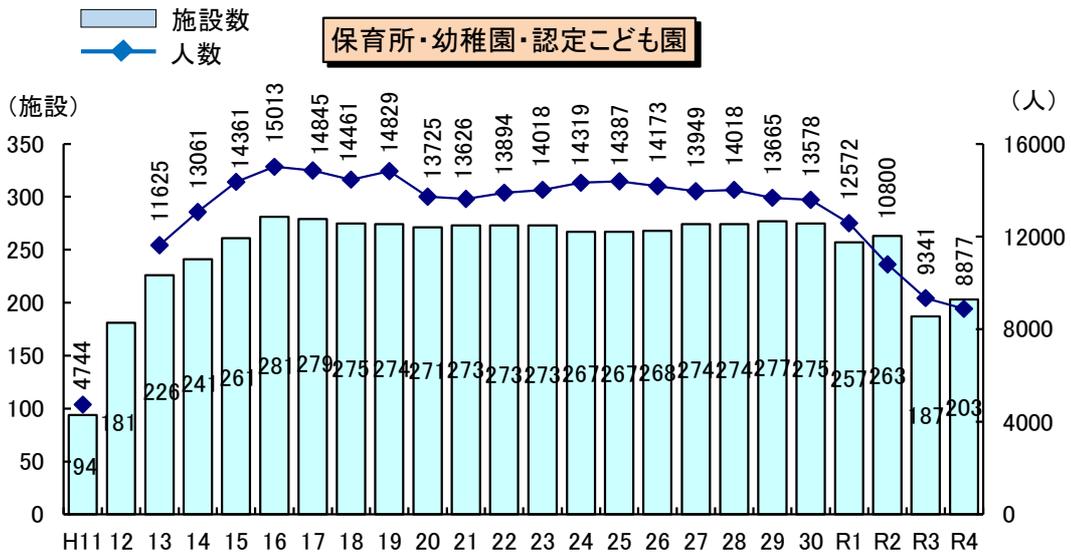
各市町ごとの施設数に県立学校は含まない。

※また、小学校には義務教育学校の前期課程を含み、中学校には義務教育学校の後期課程を含む。

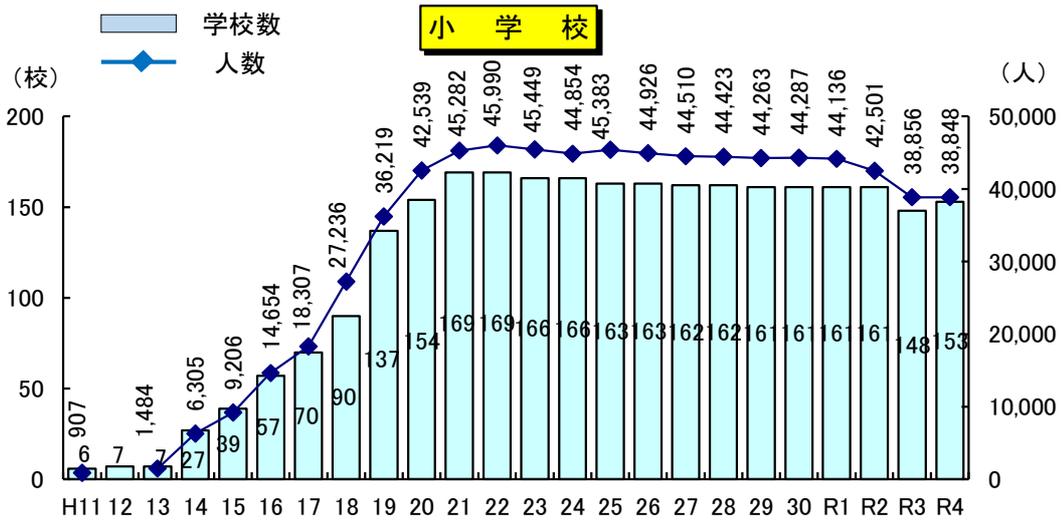
※県立特別支援学校には、ろう学校及び盲学校を含む。

佐賀県内のフッ化物洗口の実施状況 (H11～R4)

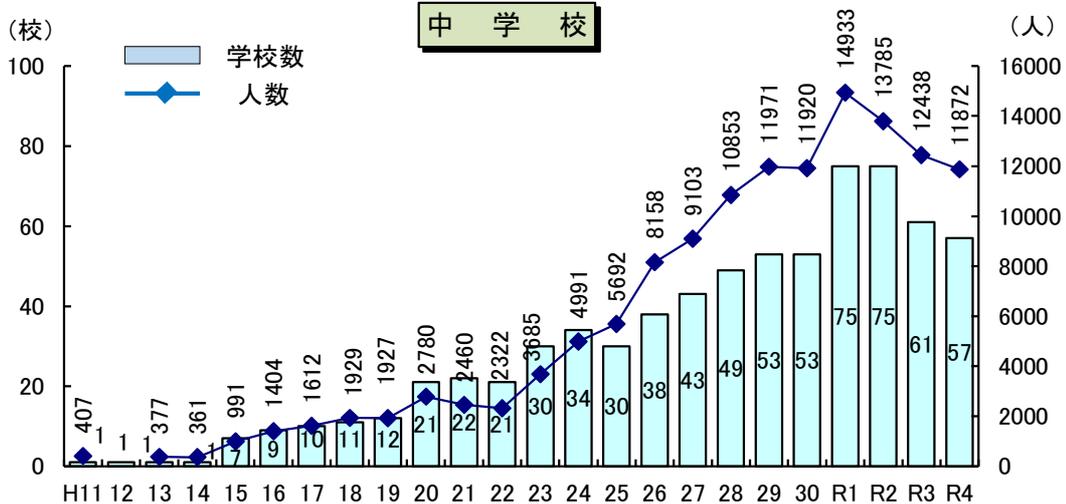
(図Ⅱ-4)



(図Ⅱ-5)



(図Ⅱ-6)



Ⅲ 佐賀県の歯科保健統計

1 一人平均むし歯数と有病者率の年次推移（令和3年度）

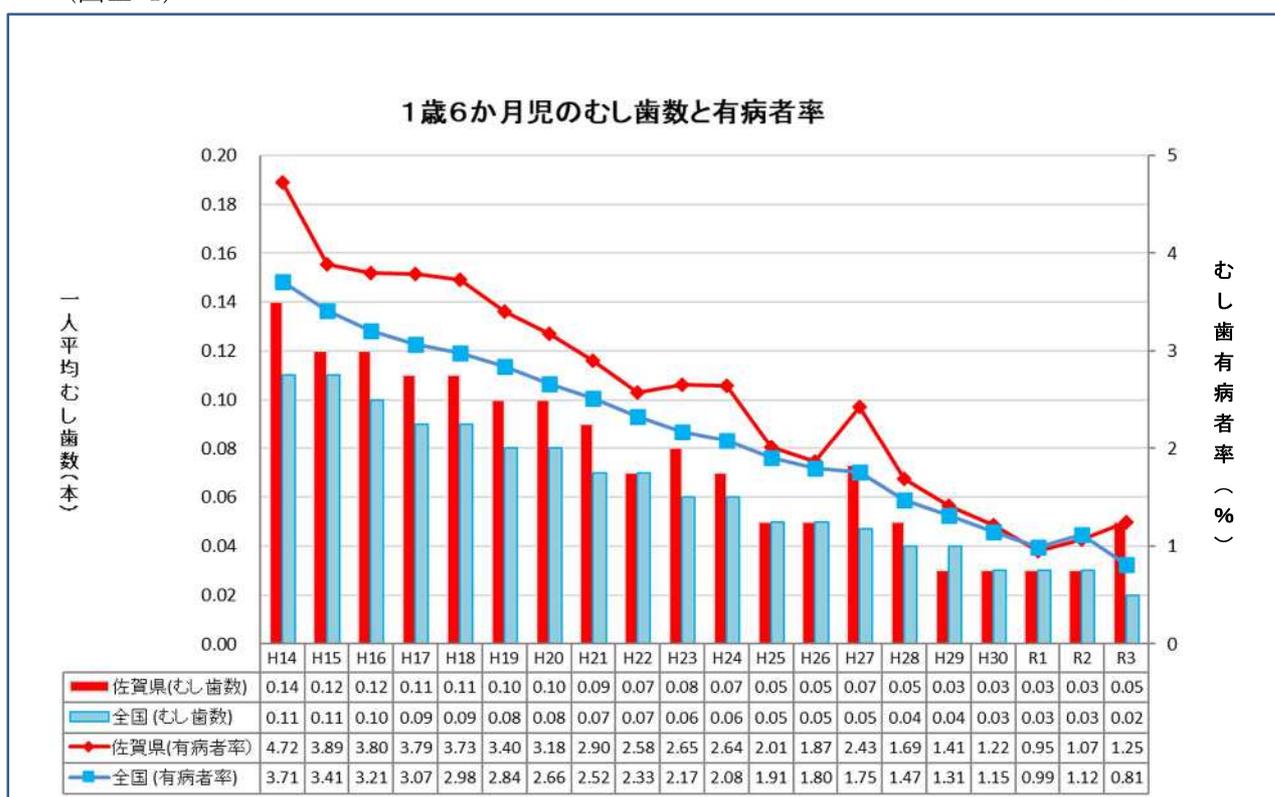
(1) 1歳6か月児のむし歯数と有病者率

ア 年次推移

佐賀県では、近年一人平均むし歯数及び有病者率は、年々減少し、全国平均に近づく傾向にあります。しかし、令和2、3年度はむし歯有病率が増加しています。

(図Ⅲ-1)

(令和3年度)



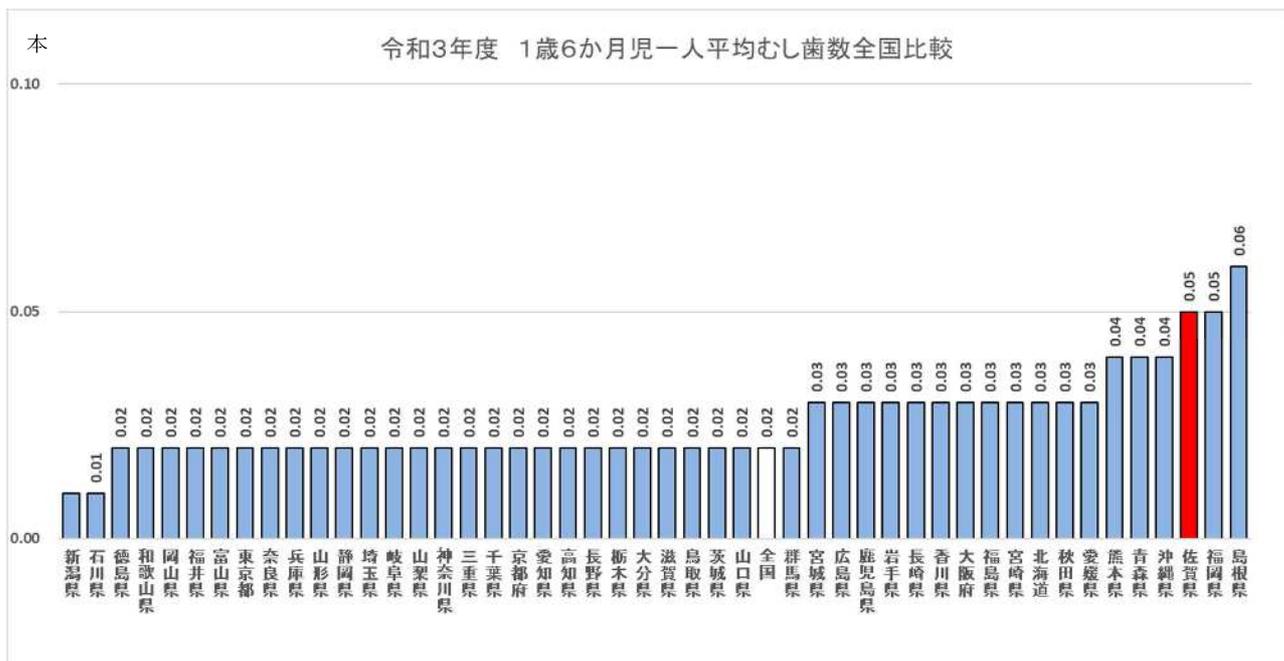
(厚生労働省：地域保健・健康増進事業報告)

Ⅲ 佐賀県の歯科保健統計

イ 都道府県別比較

令和3年度の1歳6か月児のむし歯の状況を都道府県別にみると、佐賀県の一人平均むし歯数の全国比較順位は45位で、有病者率は43位でした。

(図Ⅲ-2)



(図Ⅲ-3)



(厚生労働省：地域保健・健康増進事業報告)

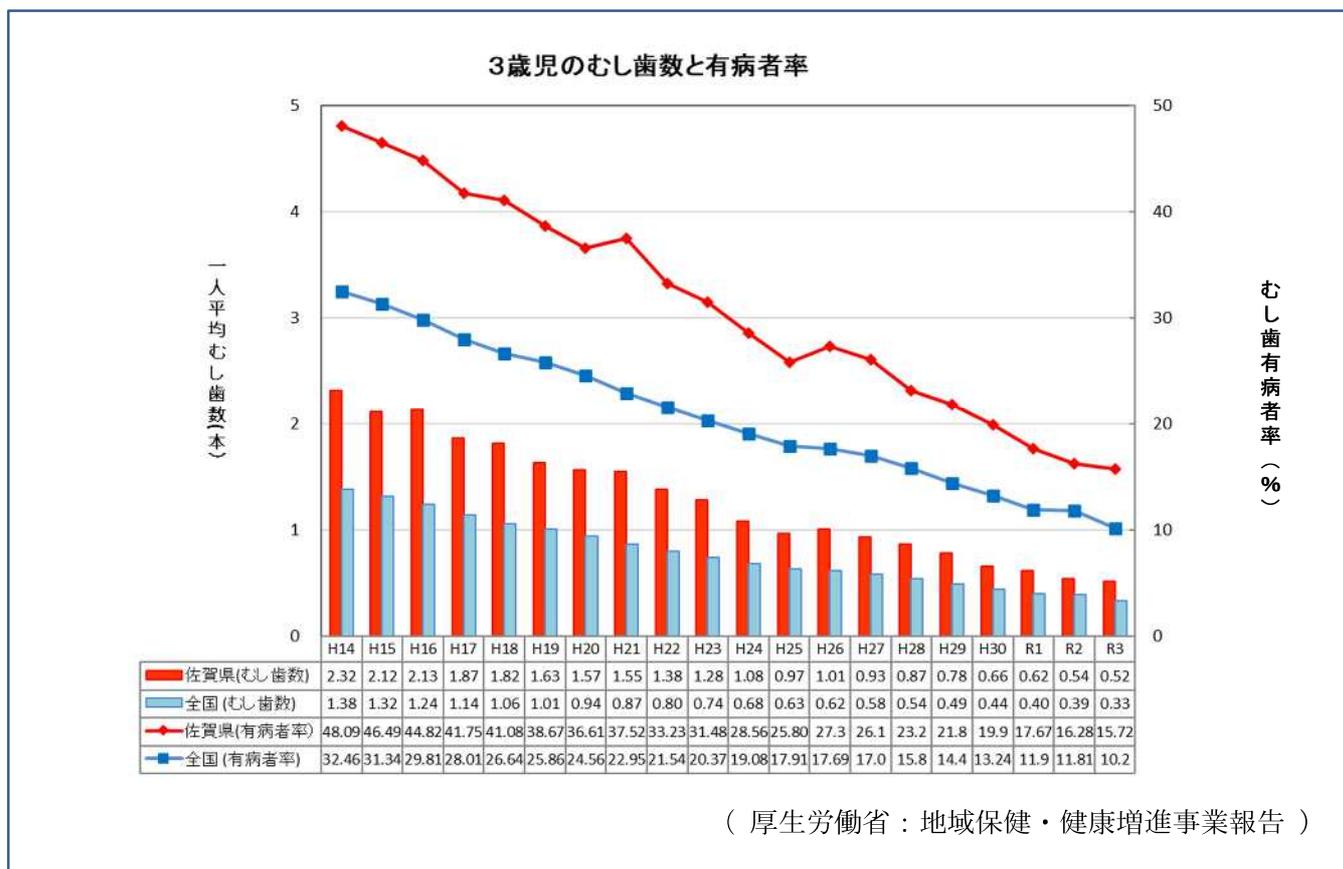
(2) 3歳児のむし歯数と有病者率

ア 年次推移

3歳児の一人平均むし歯数及び有病者率は、佐賀県、全国平均いずれも年々減少しています。佐賀県と全国平均との差は少しずつ縮まる傾向にあります。

(図Ⅲ-4)

(令和3年度)

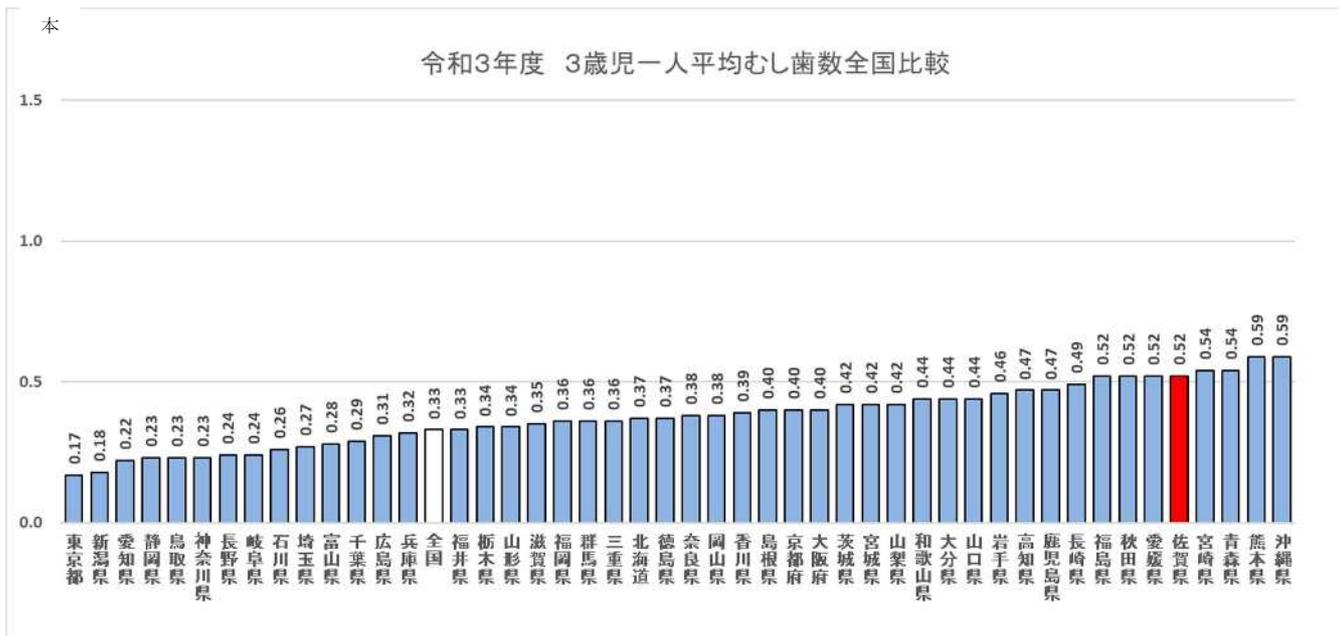


Ⅲ 佐賀県の歯科保健統計

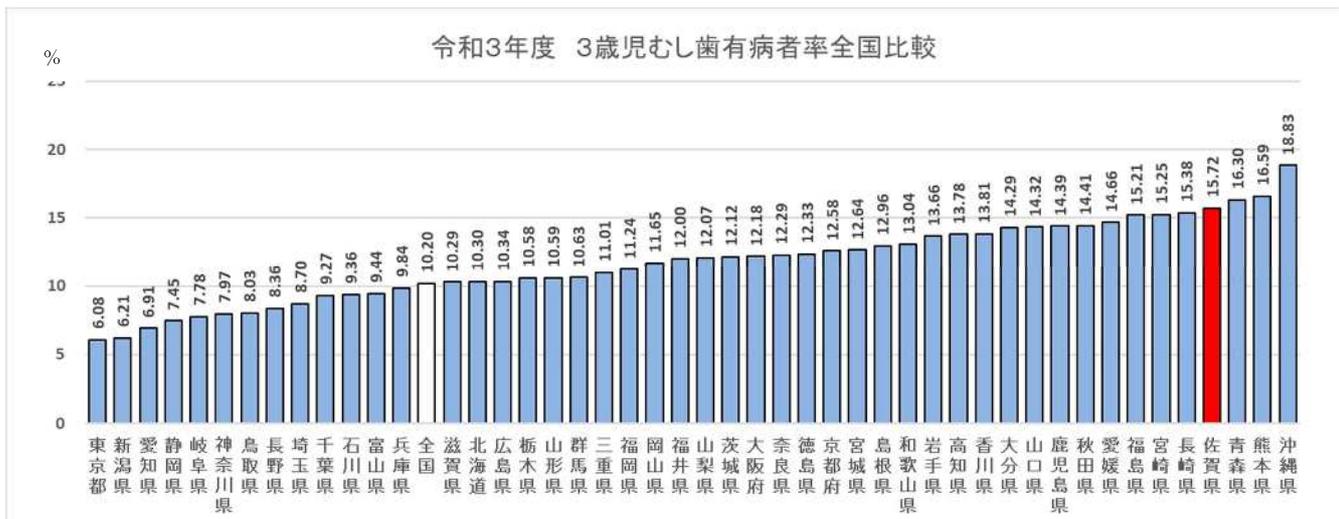
イ 都道府県別比較

佐賀県の3歳児一人平均むし歯数は、平成12年度まで10年続けて全国最下位の後、平成13年度に全国最下位を脱したものの、その後も下位グループであり、令和3年度は、一人平均むし歯数は43位、有病者率は44位でした。

(図Ⅲ-5)



(図Ⅲ-6)



(厚生労働省：地域保健・健康増進事業報告)

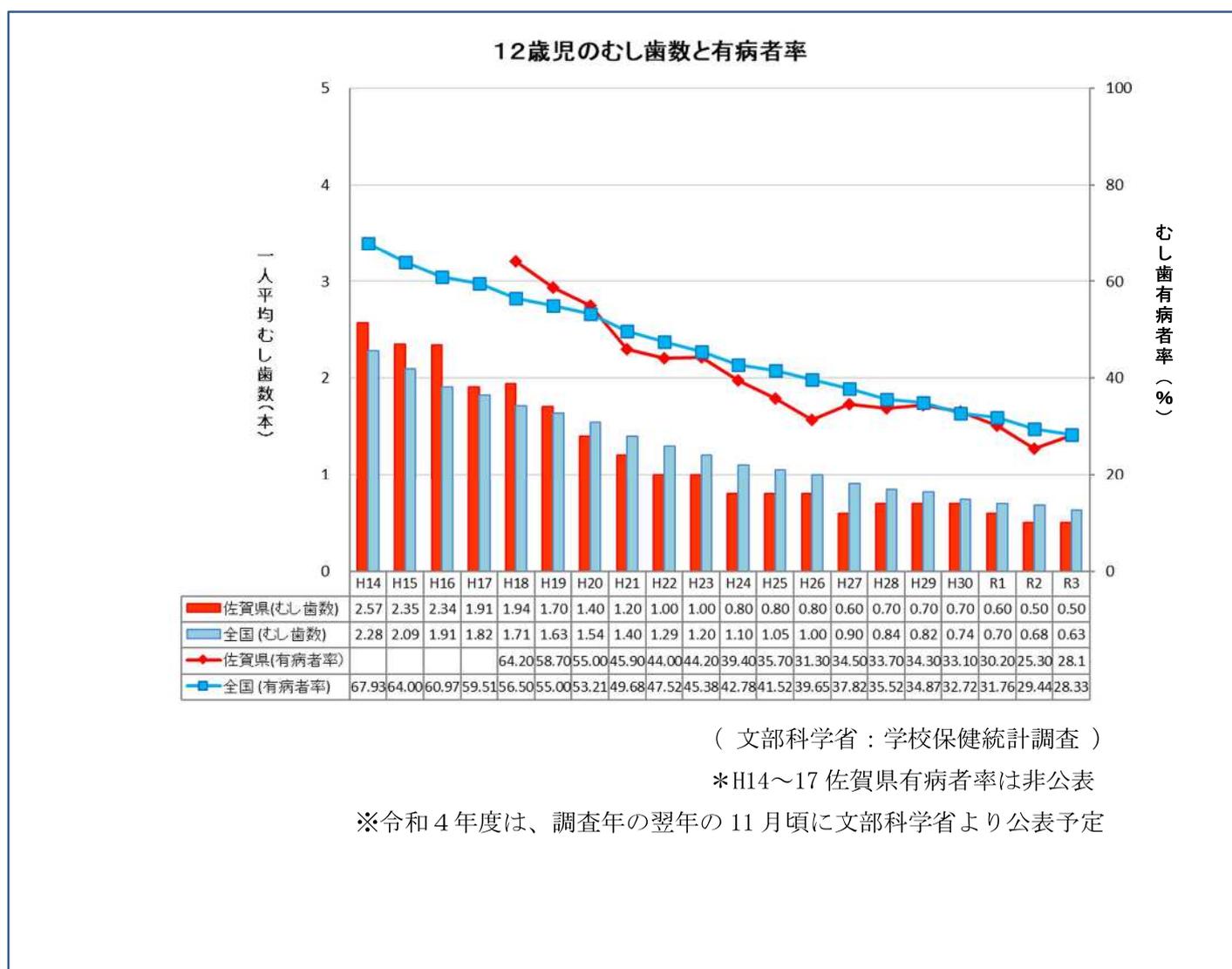
(3) 12歳児のむし歯数と有病者率

ア 年次推移

12歳児の一人平均むし歯数及び有病者率は、佐賀県、全国平均いずれも年々減少しており、佐賀県の一人平均むし歯数は平成20年度から全国平均を下回っています。有病率については、令和2年の25.30%から令和3年は28.1%と増加しました。

(図Ⅲ-7)

(令和3年度)

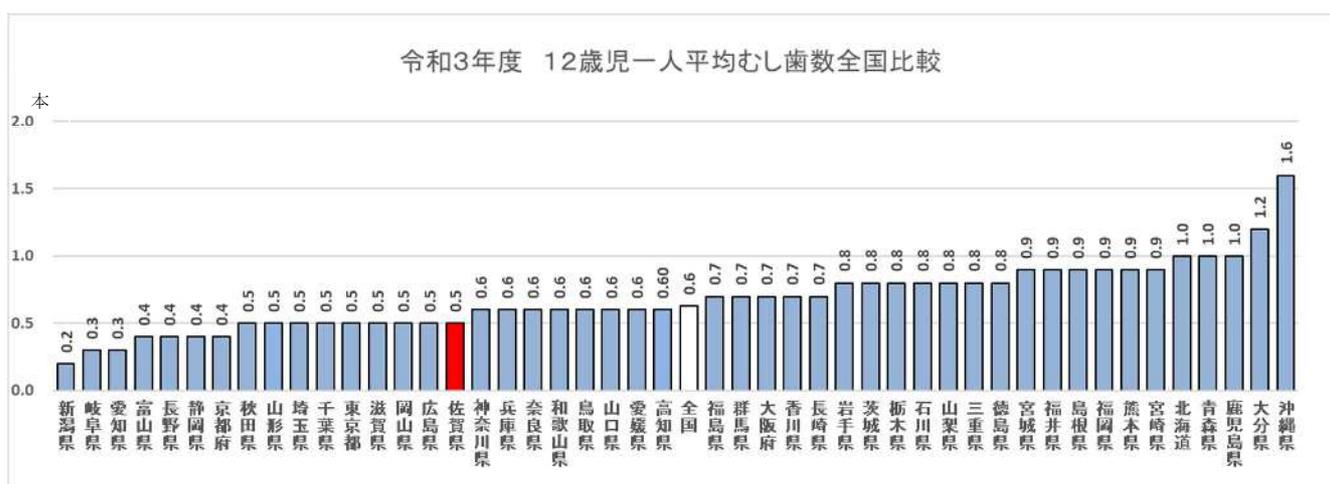


イ 都道府県別比較

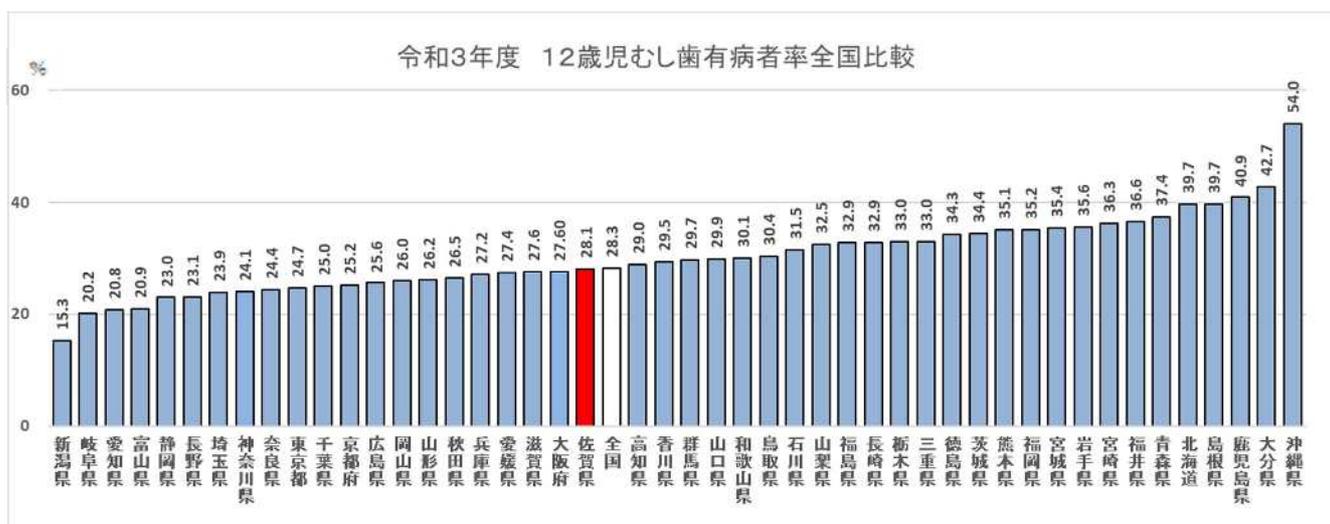
令和3年度の12歳児のむし歯の状況を都道府県別にみると、一人平均むし歯数の全国比較順位は令和2年度の3位から8位へ、有病者率の全国比較順位は令和2年度の8位から21位へ順位が下がりました。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、フッ化物洗口を一部の施設で中止した影響も考えられます。保育所、幼稚園、認定こども園、及び小学校等で行うフッ化物洗口の適正実施・継続について支援等を行います。

(図Ⅲ-8)



(図Ⅲ-9)



(文部科学省：学校保健統計調査)

2 一人平均むし歯数と有病者率の市町比較（令和4年度）

(1) 1歳6か月児のむし歯数と有病者率

令和4年度の1歳6か月児一人平均むし歯数は、県平均で0.02本であり、最も多い市町で0.05本、最も少ない市町は0本でした。むし歯の数は少ないものの、むし歯有病者率は市町で格差が見られます。

(図Ⅲ-10)



(図Ⅲ-11)



(図Ⅲ-12)



(図Ⅲ-13)



(男女参画・こども局 こども家庭課調べ)

Ⅲ 佐賀県の歯科保健統計

(2) 3歳児のむし歯数と有病者率

令和4年度の3歳児一人平均むし歯数は、県平均で0.43本でした。最も多い市町でも0.71本となりました。

第2次佐賀県歯科保健計画「ヘルシースマイル佐賀21」では、令和5年度の目標を、3歳児でむし歯のない者の割合を86%、3歳児でのむし歯のない者の割合が80%以上である市町数を10市町としています。

令和4年度は、3歳児でむし歯のない者の割合は86.2%と目標を達成し、3歳児での、むし歯のない者の割合が80%以上である市町も20市町となり目標を達成しました。

(図Ⅲ-14)



(図Ⅲ-15)



(図Ⅲ-16)



(図Ⅲ-17)



(男女参画・こども局 こども家庭課調べ)

(3) 12歳児のむし歯数と有病者率

令和4年度の12歳児の一人平均むし歯数の県平均は0.50本ですが、多い市町は2.13本、少ない市町は0.09本と地域格差が大きくなりました。

第2次佐賀県歯科保健計画「ヘルシースマイル佐賀21」では、令和5年度の目標を、12歳児でのむし歯のない者の割合を70%、12歳児で一人平均むし歯数が1.0未満である市町数を15市町としています。

令和4年度は、12歳児でのむし歯のない者の割合は72.7%と目標を達成し、12歳児で一人平均むし歯数が1.0未満である市町数19市町となり目標を達成しました。

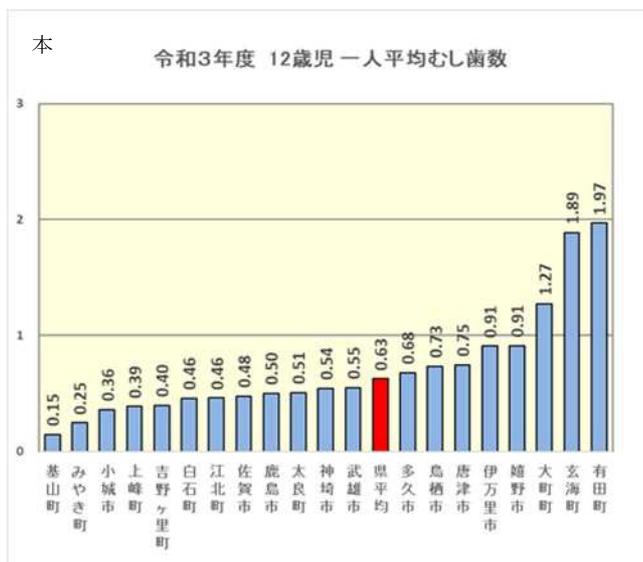
(図Ⅲ-18)

(図Ⅲ-19)



(図Ⅲ-20)

(図Ⅲ-21)



(佐賀県教育委員会事務局保健体育課調べ)

